

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	9人	3人	0人	18人

前回の改善計画

- ・家族との関わりを積極的に持つ。
- ・情報用紙の記載内容が少なく、情報について話し合う時間がない。
- ・職種により、必要な情報に誤差もある為、情報用紙の捉え方について検討する機会があれば良い。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・月に一回は必ず、家族との面談や意向確認する機会を設けている。また、送迎時や電話連絡にて、利用時の様子や自宅での様子など、お互いに情報交換を密に取るようにし、必要に応じて面談の場を設けている。
- ・新規利用時は、情報用紙の他にホワイトボードを活用し、すぐに周知・確認出来るよう環境面を整えている。また、日々の業務日誌も活用し、利用時の様子観察を継続的に行い、ケアの方向性や注意すべき点などをミーティングで発信・共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	12	1	0	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	13	1	0	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	7	3	0	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	9	2	0	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前に希望に応じて、おためし利用の機会を設け、利用に関する不安感の軽減や気軽に利用に繋がっている。
- ・新規利用時は、情報や日々の記録・ミーティングをもとに、職員間で情報を共有し、疑問や不明な点がある場合はその都度確認し合っている。日々の経過記録を業務日誌、ケース記録へ記載し今後のケアや方向性について会議の場で必ず検討・確認し、共有している。
- ・送迎時に、家族から自宅での様子を伺ったり、利用時の様子などお互いに情報や「気付き」を共有している。送迎時家族不在の場合は電話での確認をしている。また、月に一回は必ず、家族とのモニタリングや意向確認する機会を設け、必要に応じて、その都度モニタリングを行うようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・どのような声掛けをしたら良いかわからず受け応え方に関しては個人差がある。
- ・送迎時に家族と関わるが多いため、様々な相談事などを受けることもあり、情報として繋げるようにしているが、初期利用の段階ではケア方法も試行錯誤の一面もあり、どのように受け止めて良いのか自信が持てない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	8人	4人	0人	18人

前回の改善計画

- ・1週間単位、1ヶ月単位でも実践内容を振り返り、評価していければ良い。
- ・全員分のケアプランの有無を把握し、記載するのは難しい為、工夫が必要。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ケアプランの内容を日々実践し、必ず日誌に反映させることで評価に繋げるようにしている。また、全員分のケアプランを一つのファイルにまとめ、すぐに内容を把握できるようになり、日々のサービス内容に関して意識して取り組んでいる。その結果、会議の場で検討したり、確認し合い、スモール評価を継続、実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	9	6	0	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	10	3	0	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	10	4	0	18
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6	8	4	0	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・課題整理総括表を活用し、本人の現在の状況を把握でき、今後の方向性についてもカンファレンスの場で活かし見直しできている。
- ・全員分のケアプランを一つのファイルにまとめたことで、効率的に把握できるようになり、日々の記録に必ず反映させ実践した記録を残すことで継続的なスモール評価や会議の場で検討・確認ができ、ケアプラン更新時に活かし本人の思いに添ったケアの実現に近づけている。
- ・普段の生活の中で利用者の思いを理解するよう努め、声掛けをする時は、名前を呼んだりと関わりを密に取れるよう意識している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・プランを通しての関わりはしていても、利用者の言動等、表面的なもの、一方向だけで「本人の思い」を判断してしまう部分があり、「本人がどうしたいのか」日々の本人の「～したい」という声なき声を探りきれていない。
- ・目的は何か優先すべき課題は何か、情報の整理が不足し、次の対応に活かすまでのスピードが遅い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・過去・現在・未来、人・物・環境の視点でなぜなぜ分析をして優先事項・量を選択し計画する力を身に付ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年6月28日(14:00～15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	3人	0人	18人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">その人が何をどこまでできて、できないのかを十分にアセスメントし、改善する必要がある。難聴や中度以上の認知症の方の場合、説明してもうまく伝わらないため、コミュニケーションの技法を磨く。(事業部での勉強会等)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">日々の記録に繋げることで、できる部分と介助が必要な部分など情報を職員間で共有している。また、そこから更に、ケアの方向性についてミーティングや会議の場で確認し合い、次のケアに繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	8	8	2	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	10	0	0	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	12	3	1	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	8	1	0	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	11	2	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">日々の記録に繋げることで、できる部分と介助が必要な部分など情報を職員間で共有している。また、そこから更にケアの方向性についてミーティングや会議の場で確認し合い、実践的なケアに繋げている。利用者のその時の状態や変化に対して、必要なケアを見定め、情報を共有し、統一した関わりができています。看護や介護、相談員など職域の違う視点から本人に必要な支援を話し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">会議の場において、課題に挙げ検討しているが、まだ発言力や分析力、検討した後の継続したケアが弱い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">会議や申し送り時など限定せずに、いつでも課題やその時の疑問に思った点について場所を問わず、立ち会議で発言や分析する習慣をつける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	9人	3人	18人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">地域の民生委員や地域資源について理解し、個々の利用者の状況把握に努めるようにする。社会資源を知り、利用する機会を増やす。個々に住んでいる、地域の民生委員の名前等を把握する必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">情報用紙に記載された生活歴や友人関係、また、本人や家族からの情報と照らし合わせて自宅や地域での様子を把握し、日々のコミュニケーションや身体ケア・精神面のケアに繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	12	3	1	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	11	3	1	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	8	5	1	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	13	3	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">送迎時、自宅での様子を確認したり、また、利用が休みの際は安否確認や生活状況をかいまみれるよう電話や訪問をしている。月に一回必ず、自宅へ訪問し、本人の意向も踏まえた上で家族の話を聞く機会を設け自宅での過ごし方について情報を得るようにしている。生活パターンを崩さず本人の暮らしを維持している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域資源について、どういうものがあるか探りが不足している。民生委員との繋がり事業所からの歩み寄りが足りない。地域の民生委員、地域資源が今の生活のどの部分に必要で、どの程度活用できるのか解らず、知識不足。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">本人を取り巻く地域資源について知り、地域での暮らしの継続を意識して必要なところに補う関わりをしていく。地域資源を知る第一の段階として情報収集を強化する。例えば、テレビや新聞、黒石市のホームページや広報誌など閲覧する習慣を身に付け、日々の申し送りや事業部会議で取り上げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	11 人	0 人	18 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">地域に出向いて勉強会を行ったり、施設へ来ていただき昼食を取りながら勉強会等を行う。本人より家族のニーズが優先せざるを得ない状況にどう取り組むかを考える。職員の人数割合により、夜勤回数の調整に慎重になっている。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">主介護者の体調不良や介護負担の軽減、用事がある場合等、ニーズや状況に応じて宿泊 (私的宿泊も含む) や通いなどのサービスの調整を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	12	3	2	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	14	2	0	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	9	1	0	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	12	1	0	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">主介護者の体調不良や介護負担の軽減、用事がある場合等、ニーズや状況に応じて宿泊や通いなどのサービスの調整を行っている。利用時間の延長や早い時間での利用など、急な要望に対しても、ほぼ対応出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">通いの追加等の対応はできているが、家族のニーズになっていることが多い。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">柔軟な支援について、家族のニーズ、利用者にとってのニーズ双方のメリット、デメリットを考え、家族や利用者に説明するようしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	8人	6人	2人	18人

前回の改善計画

- ・地域での自治会、町内会、イベント等、どんな種類、内容があるのか、具体的な活動について情報を得る必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・黒石市内の行事（よされ・ねぷた）や六郷小学校の演奏会や運動会、施設の納涼祭など施設内外での交流ができた。また、法人発信の松の湯での「感謝フェア」や事業所発信の「こども参観」などの企画を行い、地域交流を図ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	9	3	4	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	8	2	7	18
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	6	7	3	2	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	8	6	2	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・黒石市内の行事（よされ・ねぷた）や施設の納涼祭や六郷地区等で地域交流ができている。
- ・感謝フェアを通し、地域の方に施設を知ってもらう機会を持つことができた。
- ・年2回の消防訓練を合同で実施し、地域の消防団と災害等の連携や体制を作っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域でどのような内容のイベントがあるか情報不足なため、特定のイベントや行事のみしか参加できていない。
- ・事業所に定期的に来ていただく仕組み作りが不足している。具体的な計画がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域との共生のための拠点としての意識を高め、地域の各種団体と一緒に活動できるようこれまでの活動継続と、更にイベント企画の計画を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	11 人	7 人	0 人	18 人

前回の改善計画

- ・発言、意見できないタイプの家族、地域の方の声を聞き出せる機会、考える場が少ない。
- ・地域や家族からの意見を積極的に知ろうとする姿勢が足りなかった。
- ・運営推進会議の内容報告が職員に充分になされていない。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・月 1 回の家族へのモニタリング時や送迎時など、直接の声をその都度事業所内で共有し、必要なことは会議やミーティングの場で話し合いを設けている。
- ・アンケート調査内容について直接回答するなど、又、内容の公開をホームページでも行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	5	3	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	10	1	0	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	3	1	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	9	4	3	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の方々に知っていただくために、「感謝フェア」を開催した。
- ・送迎時など、月 1 回モニタリングの時間を設け、家族の思いや利用者の状況を把握し、意見や苦情を改善に繋げるようにしている。
- ・定期的に家族へのアンケートを実施し、それをもとにサービスに反映させている。
- ・3 ヶ月に 1 回、お客様の声を収集し、ホームページで公表している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域での困りごと、登録者以外の困りごとには気付くことができていない。
- ・地域の方の意見にふれる機会を多く作れていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域の意見に多くふれる場や企画を提案する。
- ・地域での困りごとについて情報集約し事業所としての関わりについて話し合いをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	6人	0人	18人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所全体での協議の場が少ない。 ・研修内容の共有の為に工夫が必要である。報告の場を工夫する。 ・起きた事故にはよく目を向けているが、危険予測に目を向けることが充分に出来ていない。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業部会議や職員会議の場で、研修に参加した人が他職員へ報告する機会があり、内容の共有を図っている。 ・事故ヒヤリハットがあった場合は SHELL モデルのツールを活用し分析している。事故に至る経緯を見直し改善に向けた対策が行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	6	6	1	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	7	6	1	18
③	地域連絡会に参加していますか	6	3	3	6	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	8	3	0	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修には全職員が参加している。職場外の研修にも参加している。 ・本人のやる気をアップする働きかけがあり、より学ぼうという気持ちになり自ら成長する機会を作っている。 ・地域事業部会議や職員会議の場で、研修に参加した人が他職員へ報告する機会があり、内容を知ることができている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの改善策を実施しても、慣れや時間が経過すると意識が薄れてしまい、同じようなミスを繰り返している。 ・職場外の研修は、職員個人が掲示板を見て、自分の意思で申請する方式の為、個人によって偏りがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職場外研修においては、基本個人レベルでの申請となっているため、職員間で週 1 回の更新日に情報交換し、自発的に参加意欲を高める仕組みを作る。 ・リスクマネジメント改善策の結果をグループ会議や事業部会議で振り返る時間も設ける。 ・地域密着型連絡会に参加している職員のみでなく、全職員が機能や話し合った結果等を周知できる場を事業部会議で作成し、共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 6 月 28 日 (14:00 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 介護支援専門員、サービス計画策定者、ユニットリーダー、看護、介護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	12人	3人	0人	18人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員目線になっている部分がある。 ・成年後見制度の理解が足りない。理解に努める必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・主にケアカンファレンスや会議の間では「誰のためのケアなのか?」「何のために必要なのか?」を繰り返しケアプラン作成することができ、職員個々が考え利用者視点でケアを振り返ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16	1	1	0	18
②	虐待は行われていない	17	1	0	0	18
③	プライバシーが守られている	17	1	0	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	4	5	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	15	2	1	0	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いに沿ったケアを行っている。 ・入浴時は利用者の希望でカーテンがある所で着替えたり、排泄時は汚染した場合に羞恥心に配慮した声掛けをしている。 ・利用者の個人情報特定の場所へ保管し、鍵をかけて管理している。 ・利用者の写真をお便りやホームページに載せる場合は、必ず家族へ同意を得ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の理解や知識が不十分であり、周知する機会が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度を利用するにあたり、どんな人が対象になるのか、どのような支援を受けるのか等、利用している人がいるという仮定で勉強会をする機会を作る。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 報徳会	代表者	中村裕可子	法人・ 事業所 の特徴	心の中に心を持ち、人に心を運び心を伝え、五つのわ（和、輪、我、笑、話）の調和を図る。
事業所名	黒石ケアサポート センター	管理者	中村 公生		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	人	1人	人	人	5人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				
B. 事業所のしつらえ・環境			玄関や窓の施錠に関して、外側からの侵入者に対する対策は具体的に立てているのか。	外からの侵入者に対応するための施錠の段取りの確認や、実際に侵入者があったことをみなした訓練や対応方法・緊急連絡の流れを計画する。
C. 事業所と地域のかかわり	・法人全体で相談窓口担当者の紹介をし、誰でも自身のタイミングで、相談者を選んで相談出来るようなシステム作りを計画する。	法人全体で相談を受け付けていくシステム作りのために継続した計画をしている。	地域資源の理解や関わりについて、具体的に段階をふまえて目標を立てられているか。また、職員間でも勉強会や意見交換しやすい雰囲気作りや記入用紙を簡潔にする等の工夫をしているか。	・地域資源について具体的にどんなものがあるのか意見交換をふまえた勉強会を計画する。 ・地域資源の1つであるボランティアの受け入れをする計画を立て、実践、評価していく仕組みを作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				
E. 運営推進会議を活かした取組み				
F. 事業所の防災・災害対策	・地域住民と行う、サロンや勉強会の機会を通じて、地域での防災訓練実施状況の情報収集をするとともに、福祉避難所の役割を職員に周知することに努める。	・地域の中の福祉避難所としての役割周知のために、納涼祭を通じて発信した。 ・防災ガイドラインを作成し周知を図り、年間計画の訓練時、一部活用し実施した。		

